

Youth Innovation EXPO (YIE)

～万博を通じた、未来の「知」の共創～

株式会社 文化資本創研

【注意事項】

企画内容は、随時更新することを予定しています。

(株)文化資本創研の許可なく第三者への転送・共有などはお控えください。

● 開催概要

目的	大阪・関西万博を契機とした、理系学生を中心とした学生の ・アントレプレナー&イントラプレナーの発掘・育成 ・国際交流を通じた、グローバルマインドの育成
対象者	学生（大学・大学院生を中心に、中高生や起業1年以内の若手起業家など）
参加費	学生：無料（会場までの交通費は各自負担） 企業：協賛金（別紙「YIE 協賛プラン」を参照）
内容	① グローバルピッチコンテスト ② グローバル共創プログラム at YIE メタバース
参加人数	全拠点累計：約1,000人以上（予定）
開催場所	本大会：大阪・関西万博公式会場 EXPO メッセ 地域大会：下記参照、交流空間：YIEメタバース会場
地域大会	日本：4拠点以上（仙台、東京、大阪、京都など）（予定） 海外：3拠点（ロンドン、シンガポール、サンディエゴなど）（予定）
運営	主催：(株)文化資本創研（学生チーム“あすのわ”） 協力：(株)デジタル人材共創連盟、大阪イノベーションハブ、独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)（未踏人材事業）、東京都、大阪府、大阪市、京都府、京都市、大阪産業局、(社)京都知恵産業創造の森 など 協力（会場）：Tokyo Innovation Base(TIB)、西日本電信電話(株)（QUINTBRIDGE）、住友不動産(株)（GROWTH京都）など 協力（コンテンツ）：(株)ADOOR など 協力（プラットフォーム）：Agorize Japan(株)、(株)Urth 後援：2025年日本国際博覧会協会 など

● 開催スケジュール&場所

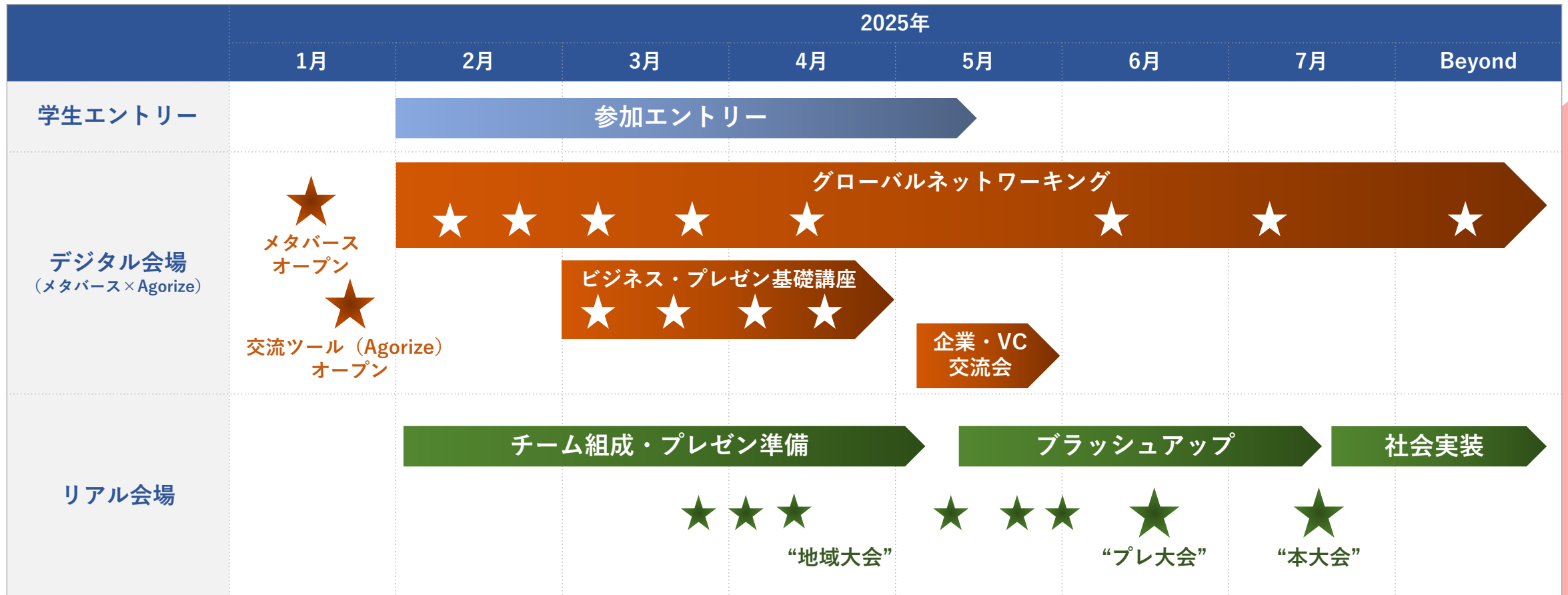


● 開催場所（本大会 at EXPO メッセ、2025年7月19日午後）



2025年2月よりエントリースタート！

参加学生は、デジタル空間（メタバース等）を活用し、交流やチーミングを行います。



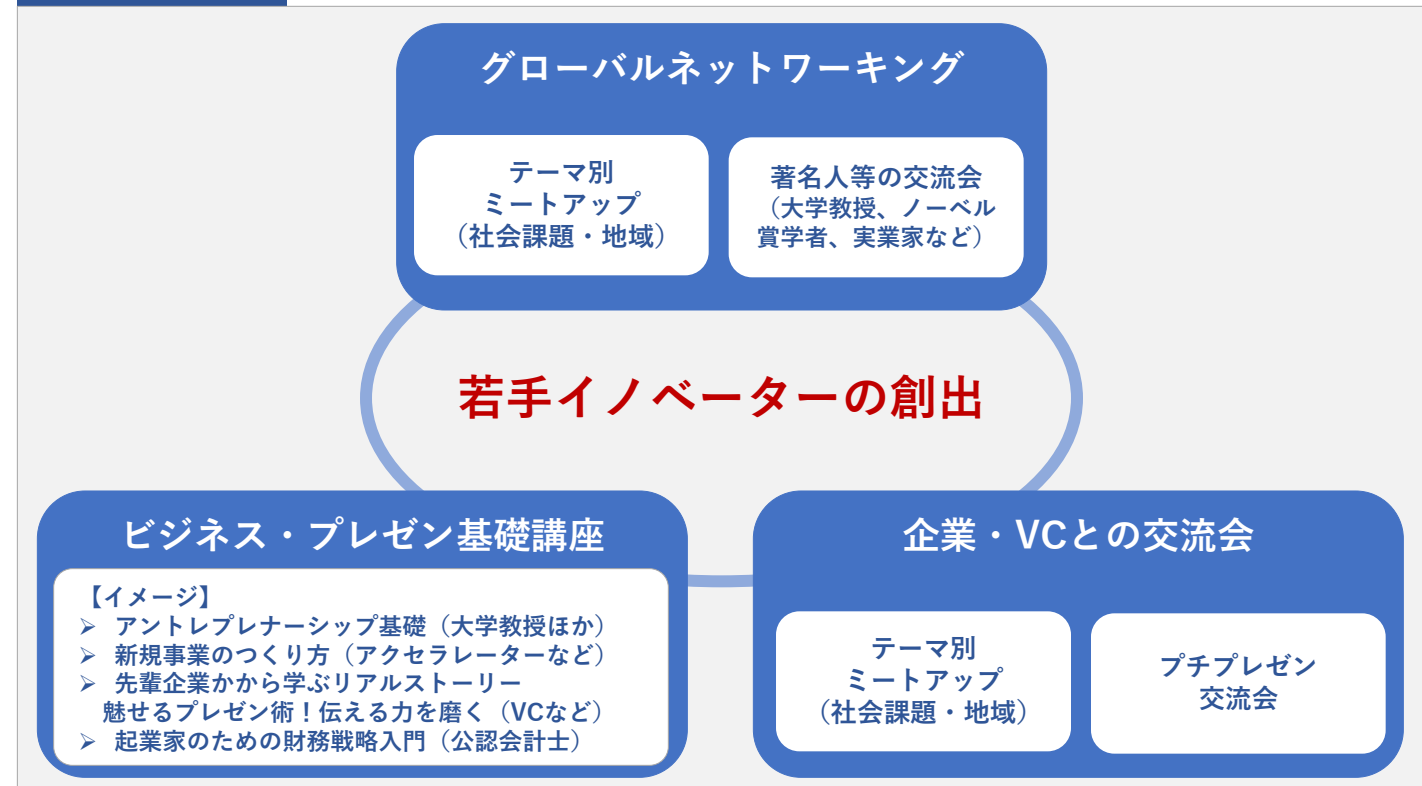
● 活動概要

活用目的	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン内容のブラッシュアップ ・海外参加学生との国際交流 ・企業（VC含む）とのマッチング
参加者	参加学生（日本+海外）+協賛企業
参加費	学生：無料（会場までの交通費は各自負担） 企業：協賛金（別紙「YIE 協賛プラン」を参照）
時期	2025年2月以降（主に、2025年4月～6月）
内容	① グローバルネットワーキング ② 未来を切り開く！ビジネス・プレゼン基礎講座 ③ 企業・VCとの交流会
開催形式	メタバー（+リアル会場のハイブリッド開催）
運営・管理	学生万博プロジェクトチーム”あすのわ”
協力	メタバー提供：(株)Urth

● 活用するメタバー



テーマと内容



ポイント

- VRゴーグルなく、365日24時間URLを知っていれば世界中の人と交流が可能！
- 近寄ったら相手のプロフィールがポップされる機能も
- 学生デザインチームが本プロジェクトオリジナルのアバターを制作中！

● 開催概要

目的	プレゼン大会を契機とした ・学生のアントレプレナー・イントレプレナーの育成 ・地域企業と学生同士の交流促進による地域経済の活性化
参加者	①ピッチコンテスト： ・学生（プレゼン参加者、視聴者） 抽選で5名/大会に万博1日券プレゼント！ ・協賛企業 ②交流会：学生（プレゼン参加者、視聴者） + 協賛企業
参加費	学生：無料（会場までの交通費は各自負担） 企業：協賛金（別紙「協賛プラン(YIE)」を参照）
時期	2025年3月下旬~5月中旬（各大会による）
内容	①ピッチコンテスト ・優勝者は万博会場での本大会に無料招待 ・2位・3位は敗者復活戦への参加権 ②交流会 ・学生同士・協賛企業とのネットワーキング
開催形式	リアル開催（+オンライン配信）
開催場所 & 開催日	① 東日本大会：東北イノベーションセンター（2025年5月23日(金)） ② 関東大会：港区立産業振興センター（2025年6月4日(水)） ③ 西日本大会①：QUINTBRIDGE（2025年5月30日(金)） ④ 西日本大会②：GROWTH京都（2025年3月28日(金)）
選考委員	各運営チームが選出する、先輩起業家（J-startupなど）、新規事業有識者（大学教授など）、実務家（地域のアクセラレーター、VCなど）
運営協力	リアル会場：各地域大会運営チーム オンライン配信：学生万博プロジェクトチーム”あすのわ” 会場提供：各インキュベーション施設会社・自治体 プラットフォーム提供：Agorize Japan(株) メタバス提供：(株)Urth

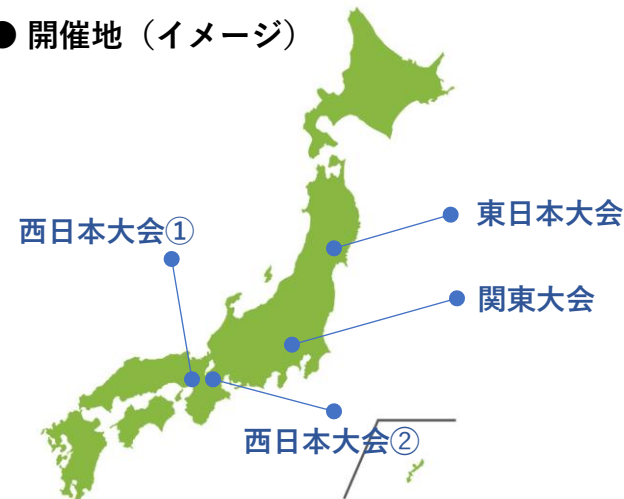
● プログラムイメージ

内容	時間	スピーカーなど
開会の挨拶 ~本イベントの目的と内容説明~	5分	各大会運営チーム
【ピッチコンテスト】	120分	学生参加者
休憩 & 選考委員による選考	15分	選考委員
選考発表	5分	選考委員
表彰	5分	優勝者等
協賛企業紹介（施設、運営等）	10分	協賛企業
閉会の挨拶	3分	来賓
休憩（交流会準備）	15分	各大会運営チーム
【交流会】	60分	学生、協賛企業など



学生同士、学生と自治体・企業との交流を促進します。

● 開催地（イメージ）



● 開催概要

目的	プレゼン大会を契機とした ・学生のアントレプレナー・イントレプレナーの育成 ・地域企業と学生同士の交流促進による地域経済の活性化
参加者	①ピッチコンテスト：学生（プレゼン参加者、視聴者）+ 協賛企業 ②交流会：学生（プレゼン参加者、視聴者）+ 協賛企業
参加費	学生：無料（会場までの交通費は各自負担） 企業：協賛金（別紙「協賛プラン(YIE)」を参照）
時期	2025年4月上旬~5月中旬（各大会による）
内容	① ピッチコンテスト ・優勝者は万博会場での本大会に無料招待 ・2位・3位は敗者復活戦への参加権 ② 交流会 ・学生同士&協賛企業とのネットワーキング
開催形式	リアル開催
開催場所 (候補) & 日時	① 欧州大会：ロンドン（2025年4月上旬（予定）） ② 北米大会：サンディエゴ（2025年4月上旬（予定）） ③ アジア大会：シンガポール（2025年4月上旬（予定））
選考委員	各運営チームが選出する、先輩起業家、新規事業有識者（大学教授など）、実務家（地域のアクセラレーター、VCなど）
運営協力	リアル会場：各地域大会運営チーム 必要に応じて、“あすのわ”がサポート 会場提供：各インキュベーション施設運営会社 プラットフォーム提供&海外学生集客提供：Agorize Japan(株) メタバス提供：㈱Urth

● プログラム（イメージ）

内容	時間	スピーカーなど
開会の挨拶 ~本イベントの目的と内容説明~	5分	各大会運営チーム
【ピッチコンテスト】	120分	学生参加者
休憩&選考委員による選考	15分	選考委員
選考発表	5分	選考委員
表彰	5分	優勝者等
協賛企業紹介（施設、運営等）	10分	協賛企業
閉会の挨拶	3分	来賓
休憩（交流会準備）	15分	各大会運営チーム
【交流会】	60分	学生、協賛企業など

● 開催地（イメージ）



ポイント

- 300万人の学生登録を持つAgorizeが海外参加者を募集
- 各地域大会の優勝者等は、万博公式会場へ招待

● 開催概要

目的	プレゼン大会を契機とした ・学生のアントレプレナー・イントレプレナーの育成 ・外国人学生と日本人学生との交流によるグローバルマインドの育成
参加者	①ピッチコンテスト： ・学生（プレゼン参加者、視聴者） 抽選で10名/大会に万博1日券プレゼント！ ・協賛企業 ②交流会：学生（プレゼン参加者、視聴者） + 協賛企業
参加費	学生：無料（会場までの交通費は各自負担） 企業：協賛金（別紙「協賛プラン(YIE)」を参照）
時期	2025年6月20日(金)（予定）
内容	① プレ大会（有識者によるフィードバック含む） ② 交流会 協賛企業ブースなどを設置し、学生同士&企業⇄学生の交流促進
開催形式	リアル開催をベースに、メタバース等でオンライン配信 （一部、オンライン参加を想定）
開催場所	Tokyo Innovation Base
選考委員	各運営チームが選出する、先輩起業家（J-startupなど）、新規事業有識者（大学教授など）、実務家（地域のアクセラレーター、VCなど）
運営協力	リアル会場：プレ大会運営チーム オンライン配信：統括チーム”あすのわ” 会場提供：Tokyo Innovation Base プラットフォーム提供：Agorize Japan(株) メタバース提供：(株)Urth

● プログラム（イメージ）

内容	時間	スピーカーなど
開会の挨拶 ～本イベントの目的と内容説明～	5分	プレ大会運営チーム
【ピッチプレ大会】	120分	学生参加者
休憩	5分	
応援メッセージ	5分	協賛団体
閉会の挨拶	5分	来編
休憩（交流会準備）	10分	プレ大会運営チーム
【交流会】	60分	学生、協力企業など



● 開催地



学生同士、学生と自治体・企業 協賛企業のブースを設け
との交流を促進します。学生とのマッチングを促進します。

ポイント

➢ 日本を代表するオープンイノベーション施設で、日本の有識者や日本を代表する企業からフィードバック

● 開催概要

目的	プレゼン大会を契機とした ・学生のアントレプレナー・イントレプレナーの育成 ・外国人学生と日本人学生との交流によるグローバルマインドの育成
参加者	①ピッチコンテスト：学生（プレゼン参加者、視聴者）、協賛企業 ②交流会： ・学生（プレゼン参加者、視聴者） 抽選で10名/大会に万博1日券プレゼント！ ・協賛企業
参加費	学生：①ピッチコンテスト：プレゼン参加者は招待 ②交流会：無料 企業：協賛金（別紙「協賛プラン(YIE)」を参照）
時期	ピッチコンテスト：2025年7月19日（土）午後 交流会：2025年7月18日（金）夜
内容	① ピッチコンテスト（有識者によるフィードバック含む） ② 交流会 協賛企業ブースなどを設置し、学生同士&企業⇄学生の交流促進
開催形式	ピッチコンテスト：リアル開催+メタバース等でオンライン配信 交流会：リアル開催のみ
開催場所	ピッチコンテスト：EXPO メッセ会場（次頁参照） 交流会：Nakanoshima Qross（予定）
選考委員	本大会運営チームが選出する、先輩起業家（J-startupなど）、新規事業有識者（大学教授など）、実務家（地域のアクセラレーター、VCなど）
協力	大会運営：本大会運営学生チーム+α オンライン配信：統括チーム”あすのわ” 会場提供： ピッチコンテスト：(社)デジタル人材共創連盟 交流会：Nakanoshima Qross（予定） プラットフォーム提供：Agorize Japan(株) メタバース提供：(株)Urth

● プログラム_ピッチコンテスト（イメージ）

内容	時間	スピーカーなど
開会の挨拶 ～本イベントの目的と内容説明～	5分	本大会運営チーム
【ピッチコンテスト】	100分	学生参加者
休憩（CM流す）	15分	
エレベーターピッチ 2分/人 （選考委員による選考）	30分	エレベーターピッチ：参加者 選考：選考委員
表彰&講評含む	15分	審査委員
協賛企業紹介（施設、運営等）	10分	協賛企業
閉会の挨拶	5分	来賓
休憩（CM流す）	15分	

● プログラム_交流会（イメージ）

内容	時間	スピーカーなど
開会の挨拶	3分	本大会運営チーム
【ピッチ参加者によるスピーチ】	30分	学生参加者
協賛企業紹介（施設、運営等）	10分	協賛企業
【交流会】	74分	学生、協賛企業など
閉会の挨拶とキックオフメッセージ	3分	本大会運営チーム



学生同士、学生と自治体・企業との交流を促進します。



協賛企業のブースを設け学生とのマッチングを促進します。

AI時代に、高校生の授業で「情報Ⅰ・情報Ⅱ」が必修科目として始まった中情報Ⅰ・情報Ⅱの浸透を加速させるべく、官民の団体がデジ連です。

若年層のデジタル活動を支援することにより、若年層の持つ才能を存分に伸ばすとともに、これをデジタル人材の育成につなげ、ウェルビーイングを通じた地域の発展と国際社会における日本のデジタル分野の競争力向上を目指します。

※本連盟は、経済産業省「デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会」が取りまとめた、「Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言」（2022.3.31）の社会実装を担うものです。

デジ連 公式サイト

https://dle.or.jp/overview/organization_information/

経産省による

デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会 提言

経済産業省では、デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会（座長：鹿野 利春 京都精華大学メディア表現学部メディア表現学科メディア情報専攻 教授）を立ち上げ、2021年10月から2022年3月までに、検討会3回、ワーキンググループ8回にわたって議論してまいりました。今回、議論した内容を、「Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言」として取りまとめましたので、公表いたします。

・[Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言（PDF形式：1,300KB）](#)

・[Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言（概要）（PDF形式：937KB）](#)

・を経て

デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会

から生まれた公的な機関に対し、民間企業が協賛する形で運営される

企業情報

- ◆ 会社名：一般社団法人デジタル人材共創連盟
- ◆ 事業内容：若年層のデジタル活動を活性化するため、大会等のガイドライン制定と情報提供、活動拠点としてのバーチャルプラットフォームの提供。産業界及び学会の人材が「情報Ⅰ」などのデジタル関連の授業支援、資格取得の支援、教員向けの研修
- ◆ 所在地：大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟3F D-1
- ◆ HP：<https://dle.or.jp/>
- ◆ 問い合わせ先：<https://dle.or.jp/inquiry/>

経産省のデジタル関連の社会実装を行う団体。日本の中高生への認知度向上が可能

Agorizeの解決法

以下5種類のオープンイノベーションチャレンジ及びプログラム運営SaaSを通じて
取り組みのDX化、そして貴社の課題を解決に繋がります。



Student チャレンジ

学生の柔軟な発想力や若い感性を活用し、企業の直面している課題解決に取り組んでもらいます。通常の新卒採用市場で出会いにくいような優秀な海外大生と出会う機会を創り、貴社の採用プランディングにも貢献します。



Startup チャレンジ

社内で足りない技術の発掘、または社内で眠っている技術の活用について、世界各国のスタートアップ企業から技術やビジネスプランを募集。各国の課題・ペインに寄り添ったサービスについて、協業や投資ができません。



オンライン ハッカソン

オンラインでチームを組成し、数週間にわたってプロトタイプ製作に取り組むチャレンジです。エンジニアとの出会いや、スピーディーな事業仮説検証が可能です。



アイデア コンテスト

社内/社外を対象に製品やサービスのアイデアあるいは課題を発掘するための効率的なプログラムをAgorizeシステムを用いて実行可能です。幅広いアイデア獲得だけでなく、応募者同士のコミュニケーションにも繋がります。



社内施策/ IDEA BOX

Agorizeプラットフォームを活用し、社員チームによる課題解決に取り組むチャレンジです。より実行可能性の高いアイデア獲得、社員の適性把握・活性化が可能です。IDEABOXを用いたインタラクティブな意見提言の場も作成可能です。

世界各国の500万人以上のイノベーターのネットワーク

300万名の学生、100万名のエンジニア・デザイナー、30万社のスタートアップ、80万名の社会人をネットワークしています。それをもとに、世界最大級のオープンイノベーションカンファレンス VivaTechnologyや、東南アジア最大級スタートアップイベントSlingshot (StartupSG) のご支援をしております。ヨーロッパやアジアを強みとして、アメリカ・アフリカでもコミュニティが拡大中です。

世界最大級の学生ネットワークを持つAgorizeがプラットフォームを提供！

They trust us



PARIS&CO

STARTUP SG



VIVA TECHNOLOGY



企業情報

- ◆ 会社名：Agorize Japan株式会社
- ◆ 事業内容：オープンイノベーションSaaS事業など
- ◆ 所在地：東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ5階
- ◆ HP：<https://www.agorize.tokyo/>
- ◆ 問い合わせ先：info@agorize.tokyo

【Beyond 2020 NEXT PROJECT】



(出所) [渋谷QWS HP](#)

「アントレプレナーシップを養成する」ことをMISSIONに掲げた早稲田大学発学生団体です。

運営団体(関東大会・プレ大会)

【UCL Japan Society】



ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの日本人組織UCLジャパン・ソサエティは、会員数が550人を超え、会員の70%が外国人である英国最大の日本関連大学団体です。

運営団体(欧州大会)

【シンガポール国立大学 日本人学生会 NiSC】



NUS（シンガポール国立大学）に通う日本人学生のコミュニティ形成を目標に活動
他にも記事やSNSを通してNUSの魅力を幅広く発信したり、
NUSの現地の学生との交流活動を行っています。

運営団体(シンガポール大会)

地域大会ごとに各地域の学生団体とコラボ

フォロワーの多いYOUTUBERからの協力も得ながら、優秀な学生参加者を募集！

国内参加学生（予定（※1））

【属性①：大学】

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京科学大学（旧 東京工業大学）、早稲田大学、慶応義塾大学、名古屋大学、京都大学、京都府立大学、同志社大学、立命館大学、京都美術工芸大学、大阪大学、大阪公立大学、関西学院大学、関西大学、近畿大学、甲南大学、神戸大学、九州大学 など

【属性②：協力頂く各種プログラム】

[未踏事業（独立行政法人 情報処理推進機構）](#)、[デジ連登録学生](#) など



海外参加学生（予定（※1））

【属性①：大学】

バークレー大学、シカゴ大学、カルフォル大学サンディエゴ校、プリンストン大学、ジョージア工科大学、イエール大学、トロント大学、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、ミュンヘン工科大学、シンガポール国立大学、南洋理工大学など

【属性②：その他】

[Agorize登録学生](#)（登録者数：300万人）

【属性③：地域大会運営チーム】

UCL(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン) Japan Society、シンガポール国立大学
日本人学生会 NiSC（予定）

（※1）上記予定は一部です。参加学生属性は一部変更になる場合もございます。

メリット①

新規事業構想力の向上

学生等がZ世代の新たな視点で
社会課題の解決に向けたプレゼン
Z世代のPR手法を発表する

ピッチ
コンテスト

リアル
交流会

若者目線での
新たな視点でのビジネス構想力
若者向けの発信力の向上



メリット②

起業家の早期発掘

社会課題の解決に資する
アイデアを持つ若手起業家に出会える

ピッチ
コンテスト

リアル
交流会

メタバース
交流会

有望な若手起業家を早期に支援
スケールアップの支援の機会ができる



メリット③

学生等の交流促進

交流会等を通じて、
起業や新規事業に関心のある優秀な学生
等との出会いが生まれる

リアル
交流会

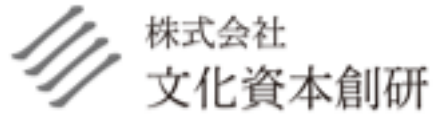
メタバース
交流会

インターンの募集対象の発掘など、
早い段階での優秀な学生等との接点構築



協賛プランに関しては、post@bunkashihon.jp (澤・中越) までお問い合わせください。

株式会社 文化資本創研は、「文化資本の力で、世界基準となる豊かな企業・地域社会を育てる」をパーパスに掲げるオープンイノベーション促進会社です。



代表取締役社長 小林 孝嗣

公認会計士、国際文化政策研究教育学会会員 を兼ねる
NHK『クローズアップ現代』サステナビリティ経営の実務専門家として出演（テーマ：グリーンウォッシュ、2022年10月24日放送）
野村不動産グループ「CRE-NAVI」でSDGs・脱炭素関連のコラム執筆
有限責任 あずさ監査法人出身、言語：日本語・英語



名誉顧問 池上 惇

京都大学名誉教授、京都大学博士（経済学）
福井県立大学名誉教授、京都橘大学名誉教授、全国日本学士会理事、
瑞宝中綬章・アカデミア賞受賞

設立背景

名誉顧問 池上 惇の意志のもと、「**技術の社会実装の”場”を作る**」
というミッションを持ち生まれた企業です。

企業名	株式会社 文化資本創研
主要メンバー	取締役 2名 名誉顧問 1名 特別顧問 1名 学術諮問委員 2名
主な拠点	京都本社 京都市下京区木津屋橋通堀川西入川端町322 東京オフィス、大阪オフィス など
主な事業内容	産学連携・オープンイノベーションによる新規事業創出 と課題解決を通じたサステナビリティ経営の推進支援
HP	https://bunkashihon.jp